

1920～40年代におけるチーパオのデザインの時代性についての研究

A Study of historical Aspects of Shanghai Qi Pao Design of 1920s～40s

孫 婧媛

Jingyuan SUN

崇城大学大学院芸術研究科デザイン専攻
Division of Design, Graduate School of Art, Sojo University

I はじめに

チャイナドレスは中国語で「チーパオ」といい、中華民国時代から現在にかけて世界的に注目されているファッションアイテムの一つである。海派チーパオはチーパオの一つの種類である。中国では現代チーパオと言えば、海派チーパオが代表的なものである⁽¹⁾。チーパオの歴史を見てみると、清朝の貴族である「旗人」たちが着装した服から派生し、1920年代の上海で現在の形が誕生した。租界を通じた西洋文化の浸透や、消費文化の拡大を背景に誕生したこの新しい服飾は、やがて当時の「モダンガール」の流行のファッションとして一世を風靡する。

国内からの視点で見ると、新文化運動と五四運動を契機として古い社会（閉鎖鎖国の清朝政府）を変革し、新しい時代の正統な政治体制を確立する原動力として女性（学生、女工など）に大きな期待が寄せられることになる。

国外からの視点で見ると、中国の門戸開放によって、多くの外来会社が拡大されながら、租界が増え、外国人と中国の地方からの移住者が増えていた。各国と各地方の消費者を満たすため、伝統と西洋を結び付けた商品が生まれた時代でもある。

「服」は「時代性の特徴の表現手段」と「個人の表現手段」の役割がある。そのような1920～40年代における「チーパオ」は、当時の人々の生活文化の表象そのものであった。

本研究は、服飾が「服飾」として独立して存在するのではなく、それは社会構造に現れた一つの現象であるという視点から、当時の世界情勢や経済的状況、文化や習慣などを読み取ることにより、服飾に対する社会の価値観や服飾文化の変化、ファッションの変化などを明らかにしチーパオのデザインの時代性を解明することを本研究の目的とする。

II 研究プロセス

本研究では、中華民国時代の海派チーパオを研究対象として、「上海」、「女性イメージ」、「海派チーパオ」の三要素を取り上げ、関連性を探す。

II-1 チーパオについて

チーパオの前身は満州族の服飾である。「チーパオ」の「チー」は北京語で満州族のことを指す。「パオ」は長い服の意味である⁽²⁾。

チーパオは二つの種類がある。海派チーパオと京派チーパオである。1920～40年代に盛んになる「海派文化」はただ一つの独立の文化である。欧米から経済、政治、法律や文化など様々なものを上海に輸入し、中国の伝統文化と西洋文化が融合された。租界を通じて入ってきた西洋諸国の文化と、中国各地から移民を通して持ち込まれた様々な風習が融合し「無国籍文化」と呼ばれる現象が生じる⁽¹⁾。

チーパオの変遷過程から見ると、保留のデザインと変化のデザイン（図1）の二つの潮流に分類されると考える。

チーパオの変遷はただ服飾の変遷ではなく、女性の思想や社会変化との関係がある。例えば、中華民国時代のチーパオは昔の「H」ラインから「X」ライン（図1）になった。清朝の満州族の服飾のデザインは直線ラインが多い。中華民国時代の上海で、社会が開放され、上海に多くの外来物が輸入された結果当時の欧米のスカートのデザインを参考にされ、「X」ラインに変化していった。チーパオの「X」ラインは上海の女性が中華民国時代に全面的に、思想開放され、女性は自身のボディーラインも表現したいと思い、チーパオのデザインが曲線ラインへと変化していった。

チーパオは裾と袖の長さが短縮して、ウエストがいつそう体に合うように作られて、1929年4月には中華民国女性の礼服としても定められた。西洋的な影響を受けた女性美を表現する道具として、チーパオが再評価されたということである。30年代から40年代にかけてチーパオは、旗人の服として復活したのではなく、商品社会で消費される流行服として再評価を受けることになる。女性の体の曲線美を強調すると同時に、実用性や利便性を追求している。繊細で精巧な体型を展示したり、バツツの設置をすることで見え隠れする足の優美な曲線を現れさせている。1930年代には裾が床を掃除するようなチーパオという意味で、「掃地チーパオ」と呼ばれるロング型の海派チーパオが広く流行したことが特筆できる。1947年のチーパオのデザインは変化が少ないが、長さに関しては膝下2センチから3センチが最も適合しているとされていた。

II-2 「チーパオ」と「1920～40上海」

上海の歴史、社会、経済、租界、メディア、文化の6つの視点から調査し、変遷の過程をまとめた（図2）。当時の複雑な背景を精査した結果、海派チーパオに影響した要素を取り

上げる。

アヘン戦争後、上海は門戸開放から、租界が設置され、外国文化が流入することで、上海は近代的な国際都市に成長する。1843年の開港以来、上海は租界を中心とする「コマーシャル・エンポーリアム（商業都市）」として機能し、「中国の中の西洋」の景観を呈して成長する。1920年代から30年代にかけて、上海は中華民国一番目の都市として発展し、イギリス系金融機関の香港上海銀行を中心に、中国金融の中心になった。

五四運動は、上海では学生や知識人ばかりでなく、実業界や労働界も参加した出来事である。それは、古い社会を打ち破って、新しい社会の創造を意味するものだった。新思想を鼓吹し、全面的な西欧化や儒教批判、科学や民衆の重視、文字及び文学などがその内容となった。

中心工業は農業から軽工業になり、紡織業が大幅に増えた（図3）。この頃、上海で大きな人口流動があり、特に、上海のフランス租界で、10年代から30年代まで、外国人や中国の地方からの移住者が増えていった（図4）。

Ⅱ-3 「チーパオ」と「女性イメージ」

1920～40年代に、女性は社会の主な労働力になっていった。理由は以下の3つが主に考えられる。

- ①1920～40年代の中国は戦争の時代であり、多くの男性は戦場へ行った。
- ②紡織業などの軽工業が主な中心工業になった。
- ③中華民国時代になり、中国の中流階級の女性は教育を受けられるようになり、多くの女学校が設置され、女性知識人が登場し、女性たちの社会的な地位も上昇するようになる（図6、図7）。

外に出ることが多くなった女性たちにより海派チーパオを着用する人が増え、チーパオのデザインが大きく発展していった。

手元にある資料『海派チーパオ紋様研究』⁽³⁾『中国老旗袍』⁽⁴⁾『美女月份牌』⁽⁵⁾を参考にして、チーパオを着る女性イメージ図（図5）を作成した。この図を見ると、チーパオの変遷を見ることができる。例えば、チーパオのスカートの長さである。伝統チーパオの長さは足首までであるが、1920年代中旬、外来ファッションの影響を受けて、チーパオの長さは短くなった（膝まで）。1930年代、チーパオの全盛期で、「掃地チーパオ」（掃地チーパオ：チーパオのスカートの長さが地面まで、足も見えない）が出現した。女性のボディラインが強調されるようになった。しかし、30年代の後期、戦争の影響から、動きやすいように、チーパオの長さも短くなった。

チーパオは、新しい時代の新しい知識や技術を身に付け、教師や医者、看護婦や事務員、経営者などの職業女性（図8）として活躍することを期待された、知的エリートとしての期待が込められた言葉になっていくのである。

女性にはチーパオのデザインに対する変化だけではなく、国内と外国に宣伝する役割もあった。1910年代、中国の近代広告時代は上海から始まった。当時の上海で、商業ポスターとカレンダーを結びつける「月份牌」と呼ばれるものが登場した。初期には、山水画や人物画など、いろいろな種類があった。しかし、次第にチーパオを着る女性達のイメージに取って代わった。これらは年中を通して利用される頻度が高く、流行性も高いため、ファッションの参考資料になった。国内雑誌と外国雑誌で、大量に中国の女性イメージが現れた。蒋介石夫人、宋美齡は国内外で、大きな影響力を持っていた。彼女はチーパオを好み、一生で多くのチーパオを所持していた。チーパオの変遷（宋美齡は、アメリカ留学の経験があり、自分のチーパオのデザインに欧米スカートの要素をよく採用した）と宣伝（外国の首脳との会談と会食などで、いつもチーパオを着ており、チーパオはプレゼントとして、外国の友人に送っていた）のため、代表者の一人と考えられている。

Ⅲ まとめ

Ⅲ-1 影響

- (1)西洋の平等や民主などの思想の洗礼を受けた女性が、学校や工場に進出し、女性たちのファッションが社会の注目を浴びていたこと。
- (2)西洋、東洋の素材が多く輸入された市場にあふれたこと。
- (3)女優やモデルによる効果が大きくなったこと。
- (4)国際的なファッションの間接的な影響である。

Ⅲ-2 結論

チーパオは、裾と袖と襟の長さが短縮して、見え隠れする足の優美な曲線を強調して、デザインの変遷を始め女性の体型と気質の要求などの方面から中華民族の審美の心理の歴史を探求して、その上でチーパオが曲線の審美を偏愛し女性の気質の「上品さ」と「静かさ」を尊重すると考える。

海派チーパオは女性が社交の場合に進出する際に女性美を表現する道具として機能し、就職女性や「近代」中国の女性として西洋的な価値観の下で、女性が次第に束縛から解放され、健康美と精神美を調和するファッションが求められたのが1920年代であり、その思想の上に服飾文化が発達していったのが30年代だったと位置づけることができる。1930年代には、世界服飾ファッションはより軽装化すると共に、体を露出する面積が増えていた。新しい形式の海派チーパオは、そうした新しい中国女性のファッションとして受け入れられていくことになる。そこに流行服としての海派チーパオが成立する。中華民国中・後期にチーパオが広く流行し、それがのちに中国の「伝統民族服」と認められるほどに大衆化することは、服飾をめぐる社会状況が大きく変動し、チーパオを流行服として受け入れる社会基盤が確立した

ことに関わりがある。「近代」上海の成立によって都市文化が成熟し、都市文化の一部としての海派チーパオが認められていくのである。

チーパオ（特に海派チーパオ）のデザインの変遷を見ると、歴史的、経済的背景を精査することで、中国における女性思想の変遷と外来文化の影響の関連性を明らかにできた。

Ⅲ－3 展望

海派チーパオは、長い歴史がある服飾形態を基礎としながらも、民族的な伝統に従属することなく変化し、受け入れられていった。そして、むしろ上海の社会環境に適応する形で、西洋服の要素を取り入れながら固有の服飾形態が作られた。

海派チーパオは古いものとされ、時代遅れのイメージが強かった。現代中国のメディアによって、さまざま中国伝統服の中でもチーパオは最も中国女性の魅力を引き出すことができると考える。現代チーパオの社会的な位置づけについては、政治的、経済的要因からの考察だけではなく、文化的要因を考えながら、「伝統」が創造されていく方法を考えていきたい。

[参考文献]

- (1) 謝黎「チャイナドレスをまとう女性たち」青弓社 2011年
- (2) 謝黎「チャイナドレスの文化史」青弓社 2011年
- (3) 庄立新「海派旗袍紋様研究」新西部（理論版） 2012年11期
- (4) 白雲「中国老旗袍～老照片，老広告見証旗袍的演变」光明日报出版社 2006年
- (5) 汤尼白露「中国女性主義思想史中的婦女問題」上海人民出版社 2012年
- (6) 张锡昌「美女月份牌」上海锦绣文章出版社 2008年
- (7) 華東師範大学「中国現代教育史」華東師範大学出版社 1983年 215-216頁

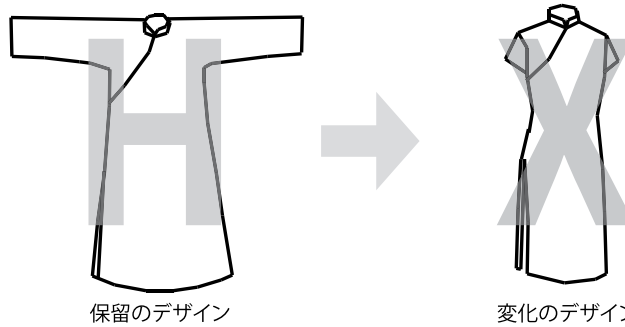


図1 清朝のチーパオの「H」ラインと海派チーパオの「X」ライン

1912	1月 中華民国臨時政府成立(南京) 2月 宣統帝退位 3月 袁世凱臨時大總統に就任 8月 中国同盟会改組 国民党成立 上海～(今)上海海洋学院成立
1913	7月 第二革命
1914	7月 第一次世界大戦はじまる 上海～4月フランス租界が最大租界になり
1915	1月 日本対華21カ条要求 9月 『青年雑誌』(新青年)創刊 12月 第三革命
1917	11月 ロシア革命 上海～国立上海商学院成立
1919	1月 パリ講和会議 5月 五四運動 10月 中国国民党改組
1921	7月 中国共産党創立 11月 ワシントン会議
1924	1月 第一次国共合作 11月 孫文北上宣言, 国民会議運動の呼びかけ
1925	5月 五・三〇運動 上海～上海公共の租界工部局; 高層ビルを建設に始める
1926	7月 北伐はじめる
1927	4月 四・一クーデター 7月 国共分裂 上海～上海市成立; 上海音楽学院成立
1928	10月 国民政府主席に蒋介石; イギリス米関税自主権を承認 上海～(今)上海立信會計学院成立; 上海演戲学院成立
1930	12月 包圍討伐はじまる
1931	4月 第二次包圍討伐 7月 第三次包圍討伐 9月 九・一八事変 上海～上海直轄市が成立

図2 中華民国時代のタイムライン (一部分)

年	紡織業の投資額 (元)
1911年	25,540,000
1925年	147,948,000
1936年	2,535,570,000

図3 紡織業の投資額

	1910年代	1930年代
ロシア	7	3879
イギリス	314	2219
アメリカ	441	1541
フランス	436	1208
ベトナム	207	947
ドイツ	148	947
中国	10万	50万

図4 フランス租界の人口変化

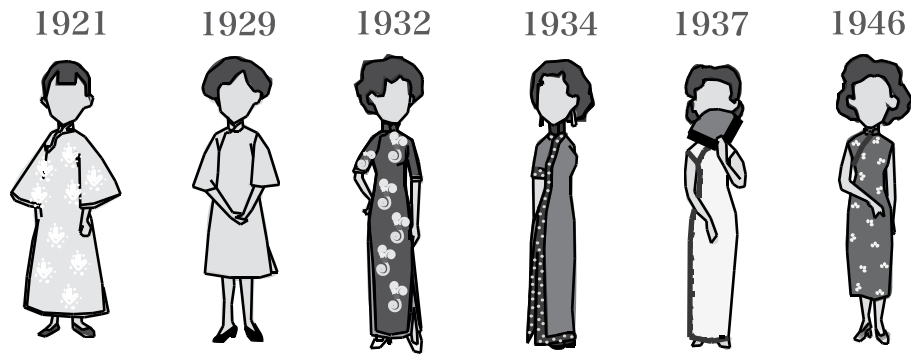


図5 海派チーパオのイメージ

年度	学校数	学生数	教員数
1928	74	25,198	5,214
1929	76	29,123	6,218
1930	85	37,566	6,985
1931	103	44,167	7,053
1932	103	42,710	6,709
1933	108	42,936	7,209

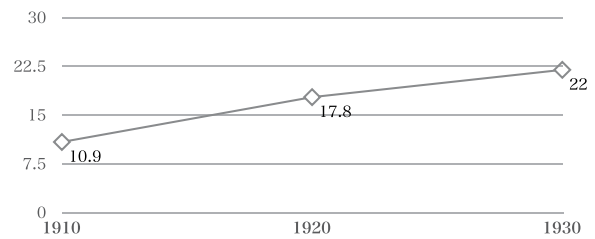


図7 女学生の入学率

図6 高等教育の状況

中国の女性	人数
歌舞業者	825
教授及び教員	793
商人	765
シルク商人	713
娯楽業の経営者とスタッフ	531

図8 1935年の公共租界における中国就職女性の上位5位の仕事

